

2013年新年年頭あいさつ

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広）は、2013年1月8日（火）、当社体育館（愛知製鋼企業年金基金体育館 [アスカム]）において、「新年年頭あいさつ」を行った。

<藤岡社長あいさつ要旨>

皆さん、新年明けましておめでとうございます。新たな気持ちで2013年を迎えられたことと思います。経営環境の厳しい中、心を新たに、一層業務に励んでいただきたいと思います。このところ、毎年何か大きな事件が発生してきました。本当に今年こそは、モノづくりに専念できる安定した経営環境を望みたいと切に願っているところであります。

■「Survival of the fittest（適者生存）」

はじめに、これからの厳しい時代、企業も「**適者生存**」が必要であると述べたい。自然界とは違い、**企業は適者となるべく生まれるものではなく、生存するために適者として、変異しなければならない。現状を理解して、これからの会社を取り巻く環境がどう変化するかを見ながら、不断の研究開発を進めていくことで、企業が生き残っていくことが大変重要なのである。**

■当社を取り巻く環境と対策

当社には、多くの外的要因が取り囲んでおり、それぞれ生き残りをかけた戦略を立ててやっていかねばならない。ただ、**手をこまねいてみるだけでは我々に将来はない。一つひとつ手を打っていくことが求められる。**

①**顧客の海外生産加速に対して**：人とモノのグローバル化を着実に推進すること。グローバル化の加速と現地生産の拡大および安定化が生き残りのための課題である。

②**売価低下への対応**：まず原価低減を進めること。歩留り、生産性を上げ、リエンジの推進を着実に進め、そのリエンジを使いこなしていく、職場力・現場力を高めていき、コストパフォーマンスを向上させることである。

③**次世代車の増加について**：クルマの小型化、高出力化に呼応した部品への対応として、具体的には小型クランク、CVT、高強度コンロッドなどが挙げられる。また、鍛造・鋼材一貫の強みを活かした素材開発ももちろん必要である。

④**電力問題への対応**：今後のスクラップ・溶解リエンジの中で、熱エネルギーの効率化を図り、省電力な設備にし、ムダ・ムラをなくすこと、電力消費を最小にする生産体制の検討が必要である。

⑤**原材料について**：低級層でも品質を確保する生産技術の開発、また、鉄源の多角化推進なども検討する。

⑥**磁石事業、センサ事業について**：考え方、ビジネスモデルを大きく変えて、当社の素材メーカーとしてのDNAをフルに活かし、磁粉販売、素子販売のモデルを積極的に推進することである。

■グローバル化について

昨年11月に、会社始まって以来、海外拠点の代表者と現地幹部社員および国内子会社のトップを集めての「**アイチグローバルミーティング**」を開催した。当社グループも、すでに海外拠点が鍛造会社で5つ、電磁品関係で6つ（シリコンバレー事務所含む）の11拠点となった。働いている人の数も、愛知本社が現在2300人に対し、海外は1200人、売上金額でも、愛知の1900億円に対して、海外合計で400億円となり、**グループ経営・連結経営という点で、今や海外なしでは考えられなくなっている。**今後もその傾向がますます進むことは間違いない。グループ全体が力を合わせることで、2015年、2020年のビジョンが描けていけるものと考えている。

■今年、皆さんに伝えたいキーワード「I Will」

当社を取り巻く厳しい経営環境の中、**連結経営で収益を上げていかなければならない。**そのためには、己（自社）を知り、相手（環境やお客様）を知ることが必須であり、環境変化に自ら対応していかなければならない。**その意思表示として、私が今年、皆さんに伝えたいキーワードが「I Will」である。自分の意思で会社を、環境を変えていくという当事者意識の表現である。「We Will」でなく、「I Will」という一人称であるところがポイントである。自分が中心となってやる責任感、当事者意識が大切であり、これはまさに、「自変元正」の心そのものでもある。もちろん改善も必要だが、それよりも改革である。自ら生まれ持ったDNAを活かしつつ、今までとひと味違った発想で果敢に勝負するべきだと考えている。**

■最後に

それからもう1つお願いしておきたいのが、安全第一である。残念ながら昨年、重大災害の発生もあり、このようなことを2度と起こさないようにこの場でもう一度皆さんと誓い合いたいと思う。そして、職場での安全管理を徹底して欲しい。1Sの精神である。最後に、今回1月1日付けで、これからの激動の時代、グローバルの時代に対応できる体制づくりをした。大きなねらいとしては3つ。まず1つ目として、**グローバル経営力の強化。**2つ目は**リスク管理を強化。**最後は**人材育成と活性化**である。**皆さんと力をあわせて真の「Company of Choice、選ばれる会社」になることを願っている。**

以上